

New ファンタジー マルチフロー（ティント工法）

【既設のコンクリート表面の準備】

良い仕上げには既設コンクリート表面の下準備が極めて重要です。

古いコンクリートの表面の汚れ（油、グリース、泥等）はコンクリートクリーナーを使って落としますが、希釈は汚れの程度によります。同時に希塩酸で軽く洗浄し、粒子の間をふさいでいるセメントカルシウムを完全に落としてください。カビが生えている場合は、カビ落としを使います（次亜塩素酸ソーダ）。*次亜の使用方法は本部にお尋ねください。コンクリートの表面が塗料で着色してある場合は、洗浄する前に塗料剥離剤（リムーバ）かコンクリートグラインダーで削り取ります。

新しいコンクリートで14日間養生したものは、軽く希塩酸で洗浄した後、洗い流せば十分です。ひどく傷んでいる部分は下塗り用の材料で補修しておくといでしょう。補修した箇所は砥石で、ざらざらを滑らかにしておきます。

ひび割れは適切な修理方法（Uカット・Vカット・エポ注入）などで直しますが、コンクリートが古いと躯体が動けば必ずしもうまく修理できません。

補修塗りする箇所に再クラックが入らないように、ファイバーなどを混ぜ込んで塗ることも大事です。既設のコンクリートに何らかのかたちで手を加えると、仕上がりに影響を与える可能性のあることは承知しておいてください。マルチフローは装飾を目的とした材料であって、補修工事として考えられたものではありません。

【下地プライマー塗布】

フロープライマー (1リッター容器 = 2.0㎡ : 18リッター容器 = 36.0㎡)

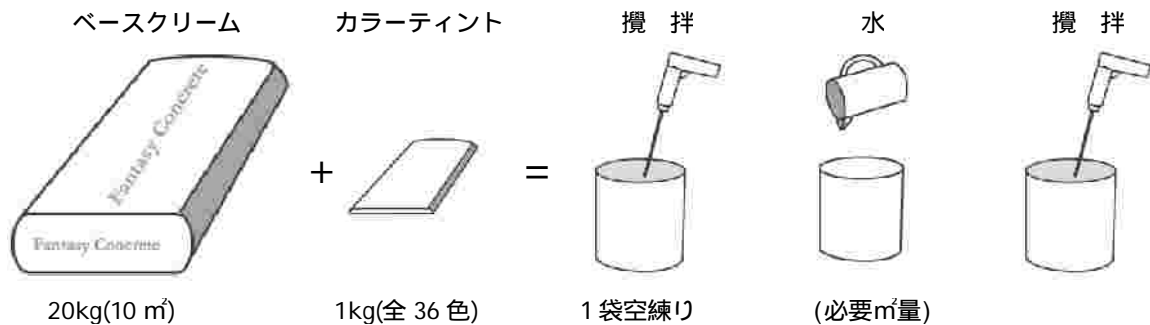
まず下地のコンクリートに余分な湿気がないかどうかを確かめ、専用のフロープライマーを原液1に対して水3～4の割合で混合液を作ります。柔らかい場合は、ローラーを使って溶液を1～2度塗りします。

コンクリートが非常に古く、浸透しやすいものであれば、フロープライマー1に対して水4の割合で作った溶液をたっぷり浸透するように、2～3回繰り返し行わなければならない場合もあります。



【材料の攪拌】

New タイプのベースクリームはポリマーミックスタイプです



(冬季) = 水 4 リター 前後
 (夏季) = 水 4.5 リター "

マルチの基本ハーデナー(ベースクリーム)20kg とお好みのカラーティント 1 kg を攪拌機で空練します(10 m²)。良く攪拌した材料を必要m²数分と水を加えて、マゼラーで5 分間ほど攪拌し、5 分間ほど間隔を置いて再度2 分間ほど再攪拌します。

新しいベースクリームはプレミックスタイプなので従来のようにフロープライマーを混ぜなくても接着効果が増し、水分量が少なくても減水剤の効果でスランプが増し、セルフレベルリングが容易になり、均しやすくなっています。

【ベース塗り】目地ベース下地塗り

下地塗布のプライマーが乾いたら、目地の色になるベース塗りをします。

このベース塗りは目地シートを剥がした時、目地の色になるので金ゴテで出来るだけスムーズに、しごき塗りの感じで厚さは1~2mm 程度がよいでしょう。20kg 袋で10~15 m²前後をカバーします。下塗りが十分に固まったら、コテムラやざらざらした部分を研磨し、エキスパンション・ジョイント(伸縮目地)が切ってあれば改めて切り込みます。

その後、送風機でほこりをはらいします。

【マルチフロー目地の貼り付け】

目地を貼り付ける前に、ベースコートをして24時間養生しておくのがベストですが、工事の都合上その時間が許されない場合、ベースコートがよく乾いていることを確認してください。専用目地シートやテープを使って好みの目地パターンを選び、テープやプルタックを使って下地のアスファルトの上に両面テープやプルタックを使って張ってください。



IT Exterior Products Pty Ltd
 Japan Branch : 1-7-9 Tatara, Higasiku, Fukuoka
 伊藤建材株式会社

【仕上げ吹付け】

A . スプレー仕上げ :

好みの色を選んで、ベースコート塗りと同様に材料を練り混ぜます。粘強度が仕上げを決めます。スランプが高ければ滑らかできめの細かい仕上げになります。逆にスランプが低いと粗くて滑りにくい仕上げになります。

ガンのノズルを調整し (4 mm、 6 mm、 8 mm) 練り混ぜた材料はふるいを通してホッパーガンに入れてスプレーします。ガンと吹き付け面の距離は 30 ~ 40cm 位で吹き付けてください。

その距離が離れ過ぎると材料がドライアウトし、吹き付けている廻りに材料の粒子が乾いて飛び散ります。エアーの量も関連しますので、吹き付けの具合をみながら調節してください。一回目が乾いたら、もう一度軽く吹き付けて仕上げます。2mm 前後の厚さがよいでしょう。吹き付け後、シーラーを塗る前に雨に濡れると白化しますので、シーラー一回塗りまでは当日に出きるよう段取りしてください。

【目地またはテープの除去】

歩いても足跡が付かない程度に固まったら、目地またはテープをとります。通常 1、 2 時間かかります。余分な粉やマルチフローのかけらをはけかブローで除去します。

【シーリング】

暖かで、仕上げ吹きが完全に乾いていれば、シーリングも同じ日に行えます。上塗りシーラー (# 3200) を 2 回塗ります。シーラーはできるだけ薄くムラ無く塗ってください。温暖あるいは熱い場所ではシーラーを厚く塗りすぎると、コンクリートの表面や目地に泡を生じる原因となります。その場合シーラーを最大限 15% 溶剤で薄めて塗ると効果的です。気温の高い日は、一日のうちで最も涼しい時にシーリングしてください。シーラーは柔らかいはけ・専用ブラシかローラー、またはエアレススプレーガンで塗布してください。

光沢を出したい場合はエポシーラー・ウレタンシーラーをお使い下さい。



【使用上の注意】

本製品の使用前に、使用者は関連するテクニカル・データと材料安全データシートを必ず読んでください。

健康及び安全面で有害となる恐れがあるものは、使用者は必ず適切な安全装備を着用し、予防措置をとってください。

10 以下では乾燥・養生時間が大幅に遅れるので、マルチフローの工事は避けた方がよいでしょう。また表面温度が 40 を超える場合も養生に影響を及ぼすのでお勧めしません。したがって、気温が非常に高い日には、作業部分に覆いをかけるとよいでしょう。

本製品を使用者の指定場所に納品後の貯蔵管理は使用者が十分に管理して下さい。雨濡れや湿気による硬化などに関して輸入元や販売元の関知するところではない為一切の責任は負いかねます。

使用者は本製品が使用目的に合うものであるか確認してください。異なった目的に使用する場合は、使用者の責任において用いてください。



【マルチフロー使用に際してメーカーがお勧めする製品およびツール】

好みの色のマルチフローカラーハーデナー

マルチフロープライマー

上塗りシーラー（#3200）

バケツ（練り混ぜ用）

計量容器

ミキサー（攪拌機）

ふるい

ホッパーガン 骨材を含む材料などの吹付け用で、下向きにも吹く事が出来る専用ガン

好みの色の目地シート

目地テープ 6mm, 9mm, 12mm（市販のガムテープなど）

ブルタック

はさみ

ディクグラインダー（スキルタッチ・サンダーペーパー）

アスファルト用ダイヤモンドカッター

トロウエル（コテ）

アスファルトクリーナー

養生マスキングテープ

マスキングテープ

高圧水洗機

コンプレッサー 最低1.5馬力以上（タンク付） 広い面1日に100㎡以上は3馬力

エアホース

ブロアー

工業用掃除機（有れば便利です）

ゴミ袋（土のう袋など）

注意： 吹付け作業を中断する時はホッパーガンを水洗いし材料を洗い落として下さい。
使用が終了した時は特に丁寧にガンの中に水を通して洗った後、ホッパーをさかさまにし
て保管してください。

